

5歳児

5歳児の発達

このころは・・・生活に必要な行動のほとんどを一人でできるようになってきます。生活の流れを見通して行動したり、周りの人の役にたつことを嬉しく感じ、仲間の一人としての自覚も生まれてきます。

喜んで運動遊びをしたり、仲間とともに活発に遊んだりするようになってきます。縄跳びやボール遊びなど、体全体を協応させた動きができるようになっていたり、鬼ごっこなどの集団遊びでも身体を活発に動かしたり、自分から挑戦したりするようになります。

言葉によって相手と共通のイメージをもって遊び、目的に向かって集団で行動することが増えてきます。けんかをして自分たちで解決しようとし、自分なりに考えて判断したり、意見を言い合ったり相手のことを許すなど、社会生活に必要な基本的な力を身につけていきます。少し先を見通しながら目的をもった活動を友達と行うようになり、仲間の存在がますます重要になります。

目的に向かって楽しく活動するために、それぞれが自分の役割や決まりを守ることの大切さもわかってきますが、個人差も大きく、まだまだ支援も必要です。

こんな遊びをいっぱいしよう

- 友達と共通の目的やイメージがもちやすい、ごっこ遊びやルールのある遊びを楽しみましょう。
- 試したり考えたりする遊びを通して、知的好奇心を高めましょう。
- 友達との対立や葛藤も経験しながら、一緒に遊びや生活を進めていきましょう。

この頃の子どもの様子



イメージを絵に込めて表現



相手の気持ちを考えて



友達と気持ちを合わせて

植物の生長にも興味をもって



試す 確かめる



収穫・体験から
「数」に触れる

一日の簡単な見通しをもって行動したり、身の周りのことも、自分から進んでしたりすることが増えてきます。

遊びの中では、「自分たちの遊び」という意識も生まれ、ルールを考える姿もできます。文字や数にも少しずつ興味をもち、手紙やお店の看板を作るなど、必要に応じて遊びの中に取り入れていきます。

こんなことあるある!



文字や数字って教えた方がいいのでしょうか？



興味が出てきたら自分からやるよ。そのときはまた教えてね。



物を並べたり、声に出して数えたりするのがおもしろいな。

「やってみたいな」の気持ちを大切に

たとえば、遊びの中で「チケットを作りたい」ということを通して、文字にも少しずつ興味をもち始めます。大人が無理に教えると、「なんだか難しそう」「やりたくない」という気持ちが出てくることもあります。やってみたいなと思った時に一緒に書いてみたり、絵本を一緒に読んだりする中で、文字や数字に触れる機会を増やしていくといいですね。



保育者より

友達の考えにも耳を傾けて

5歳児



考えを出し合い
遊びをすすめていく

友達と一緒に力を合わせたり考えたりすることが楽しくなり、大人がいなくても、自分たちで一つのことをやり遂げようとするようになります。

また自分の思いを友達に伝えられるようになってきますが、友達と思いが食い違い、いざこざが起こることもあります。しかし、友達の思いに触れ、お互いにわかり合えたときには、大きな喜びにつながります。

こんなことあるある!



友達とぶつかりあったり、言い合いになったりします。



友達と一緒に考えて解決するよ。
だから、見守って待っていてね。

友達の中で育っていく力

友達とのトラブルは、『相手の思いに気付くチャンス!』と捉えてみましょう。大人が解決を急いで答えを出すのではなく、相手の気持ちを一緒に考えていけるといいですね。

また、友達とは遊びの中でつながっているものです。「友達がいたから頑張れた!楽しかった!」という気持ちを、大人も一緒に喜び、大切にしていきましょう。

友達との関わりを通して、折り合いをつける、気持ちを調節する力や社会性も育まれていきます。



保育者より

相手の気持ちを考えて「伝える」



自分の思いや伝えたいことを、身近な先生や友達に話そうとしたり、相手の話に興味をもって、最後まで聞こうとしたりします。

また、友達と簡単なめあてをもって遊ぶ中で、自分のアイデアやイメージをうまく言葉に変えて表現する姿がでできます。

こんなことあるある!



自分の気持ちをしっかり話せているのでしょうか？



いいこと考えた！でもどう言ったらわかってもらえるかな？



友達と遊びながら「こういう言い方がいいな」って考えたりしているんだよ。

子どもの話を丁寧に聞く

大人も優しい言葉で話し、ゆっくりと相手の気持ちを考えながら話している姿を見せていきましょう。

子どもは具体的な場面での話をするので、これらの話をつなぎ合わせて理解することも必要です。なかなか難しいですが、最後まで丁寧に聞いてあげられるといいですね。



保育者より

新しいことにどんどん挑戦したい

5歳児



友達に刺激を受けたり、自分の目標をもったりしてがんばろうとする

興味のある運動遊びに目標をもって挑戦したり、リズムに合わせて友達と一緒に踊ったりすることを楽しみます。

健康診断や体重測定を経験して自分の体や健康に興味をもったり、気候や体調に合わせて休息や着替えたりすることを、自分から考えるようになります。手先を使った細かい動きを必要とする制作、縄跳びやフラフープなどの、全身を使うしなやかな運動もできるようになってきます。

こんなことあるある!



自信なさそうにしているのが気になります …。



上手にできているかな。
もっと、こういうふうになりたいなあ。

挑戦しようとする気持ちを応援しよう

周りからどう見られているかが気になったり、「こんなことができる自分になりたい」という願いと「思いはあるけど実際にはできない自分」に気づいたりします。

友達から刺激を受けたりし、新たな事に挑戦する気持ちがだんだん育まれてきます。挑戦する気持ちを応援できるといいですね。

結果だけでなく「そのやり方素敵だね」「前より上手になったね」と、がんばりを認めてあげましょう。



保育者より